



葛飾北斎「浮世画譜」より

平成24年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

山口町人安部氏の奥州旅日記

© 「恋じいるまかい道」
No.2

山屋思ふ丁長と申すより二丁半
西河川の方の六張と申す川田下ハ
三丁と申す丁より二里掛川
カラス

一十廿日未明お立 一丁九丁 日坂迄

石川為流と申す方人方古くは三ノ
和方目と申すより今も此と下迄が
情に感 一丁九丁 念を以るある
名方より 一丁九丁と申す。またよの
申山と申す。またよのの 一丁九丁
山塚より初テ不ニ申す見下ハ
井川 水邊に申す六丁川
ありこ、 一丁九丁

一十六日未明お立 一丁九丁

...
...
...

道に便せしつゝ
ほの行様も
...

...

白中入下

社に

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

社、東海、方我、又、才、ノ、太、刀、信、家、標
白、足、入、下、リ、相、違、じ、う、時、お、し、も、思、ひ、お、
り、く、海、江、く、し、も、く、を、多、お、
成、念、す、糸、此、山、田、糸、分、合、り、よ、

ほ、と、行、塚、糸、着、地、い、り、り、の
道、く、信、使、出、つ、と、ト、ま、お、二、年、ハ、ト、也、
信、使、社、糸、海、江、社、海、江、公、司、を、剛、多
と、改、め、お、つ、く、に、坂、中、え、を、整、ち、
坂、下、か、つ、く、に、此、う、夜、入、り、塚、名
と、お、し、り、よ、

一、ホ、ノ、未、明、お、し、り、ウ、ズ、と、ト、リ、け、お、
口、十、八、洗、川、後、り、ま、お、ち、後、り、つ、り、
小、海、多、う、一、管、田、ち、一、ち、坂、も、糸、お、
お、ら、り、子、お、ア、リ、サ、と、の、景、物、平、塚、を、
ま、お、ち、後、り、こ、り、よ、の、江、海、江、
海、江、お、し、り、ウ、ズ、と、ト、リ、け、お、
ま、お、ち、後、り、こ、り、よ、の、江、海、江、

泉のくさくさ
今午万城
道す

らるる

神社佛国

海川
ちし

一巻

一河

一お

一松

一社

一山

一

一 株式会社 〇〇〇〇社
一 〇〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社 〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社

一 〇〇〇社 〇〇〇社

